

2015年の春季に石川県で開催する「第66回全国植樹祭」への応援メッセージ、皆様の国での取組の紹介などを募集しています。

受け取ったメッセージは、全国植樹祭HPなどで紹介させていただきます。

皆様からのたくさんのメッセージをお待ちしています。

メッセージに、お名前（ペンネーム可）と国籍を記載して、以下のアドレスにお送り下さい。

なお、送付の際のメールタイトルは「応援メッセージの送付」として頂きますようお願いいたします。

[shokuju@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:shokuju@pref.ishikawa.lg.jp)

《第66回全国植樹祭大会テーマ》

## 「木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森」

《日本人と森林のつながり》

森林は、木材の生産はもとより、水源のかん養、土砂災害の防止、地球温暖化の防止、生物多様性の保全や美しい里山景観の創出など、私たちの生活に様々な潤いや安らぎを与えてくれる国民共有の財産です。

日本人は、古来より、森林が与えてくれる様々な恩恵に感謝し、樹木をはじめとする自然の万物には神々が宿ると考え、森林を信仰の対象としてきました。そして、その神々が宿る森林と共生していくため、古来より、森林資源を大切に利用するとともに、木を植えて森を育ててきました。

《全国植樹祭の概要》

全国植樹祭は、私たちの豊かな生活を支えてくれる森林・緑に感謝し、理解を深めるため、毎年春季に開催される、我が国における国土緑化運動の中心的行事です。

戦後の荒廃した森林の復興を目指し、1950年に第1回大会が開催されて以降、毎年、開催県を移しながら、全国から森づくりに携わる多くの人々の参加を得て、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、式典や植樹活動などが行われています。

私たちの生活に恩恵を与えてくれるこの森林を健全な姿で次の世代に伝えることは、今に生きる私たちの責務です。そのためには、木を植え、育て、適切に利活用し、再び植える、といった「緑の循環」をより確実なものとしていくことが重要であると私たちは考えます。

こうしたことから、2015年春季、石川県で開催される第66回全国植樹祭では、豊かな森林を次世代に届けるため、適切な森林資源の利活用を含む「緑の循環」の重要性を「木を活かし 未来へ届ける ふるさとの森」の大会テーマに託し、我が国、そして、世界に向けて発信する大会と

します。



天皇陛下によるお手植え状況



参加者による植樹状況

